

スコーグスチルコゴデン(森の墓地)はスウェーデンにある埋葬地の中でも最大規模を誇る埋葬地の一つで、約10万の墓があります。墓地には火葬場1カ所、葬儀用礼拝堂5カ所および屋外斎場1カ所があります。ここでは毎年2000近くの前葬儀が営まれています。

www.skogskyrkogarden.se

墓地造成のための国際建築設計コンペティションが公示される。設計案には建築芸術や芸術的表現とともに、自然を重視することが求められた。

コンペティションが終了し、若手建築家グンナル・アスプルンドとシーグールド・レーヴェレンツの作品「森林」が一位に選ばれた。

墓地の開園に伴い、最初の礼拝堂、森の礼拝堂が開業される。アスプルンドの設計によるこの礼拝堂は約35名を収容することができる。

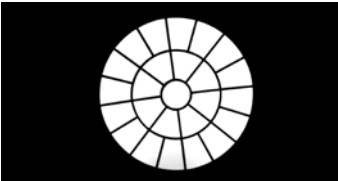
レーヴェレンツの設計による第二の礼拝堂、後元の礼拝堂が完成。この礼拝堂には75の座席数がある。

三年の建設期間を経て、火葬場および三つの葬儀用礼拝堂が完成し、六日に開業。三か月後にアスプルンドが死去。

追悼の丘が完成。レーヴェレンツの設計によるこの追悼の丘はストックホルムで最初のものである。

スコーグスチルコゴデンがユネスコの世界遺産リストに登録される。世界遺産は全人類にとってかけがえのない文化・自然環境からなっている。

1914年 1915年 1920年 1925年 1940年 1961年 1994年



**世界遺産**

スコーグスチルコゴデンは1994年に全人類にとってかけがえのない文化・自然環境を取り上げたユネスコの世界遺産リストに登録されました。

スコーグスチルコゴデンは建築芸術と1900年代に創造された文化ランドスケープが墓地として優美に融合した傑出例であることがその登録理由でした。

世界遺産登録はスコーグスチルコゴデンが未来の世代のために管理・保存されることを物語っています。

**訪問者センター**

展示、本屋、案内所および喫茶。以下サイトにて検索も可能です。 [hittagraven.stockholm.se](http://hittagraven.stockholm.se)、入場無料。

**開園時間 11時より16時**

5月と9月までは土日開園  
5月の最終日曜日から8月の最終日曜日までは毎日開園

FN-dagen (連合国日) と allhelgonahelgen (諸聖人の日) は開園  
ミッドサマー前夜およびミッドサマーは閉園  
電話番号: +46 (0)8-508 31 730。

**交通アクセス**

Farsta strand行きの地下鉄グリーン線をSkogskyrkogården駅にて下車して下さい(中央駅から13分)。

**案内付きツアー**

世界遺産であるスコーグスチルコゴデン(森の墓地)の芸術、文化および建築を探究していただけます。5つある礼拝堂の一つを拝観します。

**一般ツアー (一時間30分)**

5月の第一日曜日から9月の最終日曜日までは毎日曜日13時、スウェーデン語によるスコーグスチルコゴデンのツアーが実施されます。集合場所は正面入口です。チケット(100kr)一前売り券はストックホルム市博物館あるいは [ticnet.se](http://ticnet.se)にて、当日券は空きがある場合にご購入いただけます。またツアー料金はストックホルムカードの特典にも含まれています。

**心の動きを配慮した設計**

スコーグスチルコゴデンの特徴は訪問者自身の心の動き、つまり悲しみとそれをとりまく感情の動きにあります。特に礼拝堂での葬儀へと向かう道のりには、弔問客が別れの儀式への心の準備ができるように、という願いが込められています。そして別れの儀式の後、自然へと目を向けることで弔問客は悲しみを和らげることができるよう、という配慮がなされています。

**ツアーおよびグループ予約**

ガイドをご予約いただければ一年中ご都合のよい時にスコーグスチルコゴデンをご堪能いただけます、08-508 31 620。

7月の第一日曜日から9月の最終日曜日まで毎日曜日10時30分、英語によるスコーグスチルコゴデンのツアーが実施されます。



世界遺産  
スコーグスチルコゴデン

1900年代初期にスコーグスチルコゴデンが完成した時には、それはユニークで当時の墓地とはまったく趣を異にしていました。今日、スコーグスチルコゴデンは近代建築芸術が生んだ最も重要な創造物の一つに数えられています

スコーグスチルコゴデンのランドスケープを散策し、異なった礼拝堂を訪問することは比類のない芸術や建築芸術、そして自然を経験することを意味しています。グンナル・アスプルンドとシーグールド・レーヴェレンツの二人の建築家はマツが生育する氷堆石の丘に自然と建築芸術が一体化し、調和のとれたユニークな埋葬地を創造しました。弔問客達の悲しみを癒すことができるようにと、すべてが詳細に至るまでよく考慮されています。

1994年以来、スコーグスチルコゴデンは威信あるユネスコの世界遺産に登録されています。そして世界中の墓地造形に大きな影響を与えています。



[www.stadsmuseum.stockholm.se](http://www.stadsmuseum.stockholm.se)  
[www.skogskyrkogarden.se](http://www.skogskyrkogarden.se)  
Visitors center: +46 (0)8 508 31 730

# スクーグスチルコゴードンを発見してください




**森の礼拝堂**はスクーグスチルコゴードンに完成した最初の、そして最小の礼拝堂です。グンナル・アスプルンドにより設計され、1920年に完成しました。

森の火葬場および信仰の礼拝堂、希望の礼拝堂、聖十字架の礼拝堂はグンナル・アスプルンドの設計によるもので1940年に完成しました。施設にはフレキシブルで実用的な機能主義が明確に反映されています。

> さらに詳しく/リンク



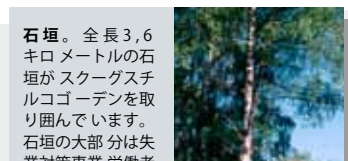
**森の礼拝堂**はスクーグスチルコゴードンに完成した最初の、そして最小の礼拝堂です。グンナル・アスプルンドにより設計され、1920年に完成しました。

> さらに詳しく/リンク




**ビジターセンター**は1923年に完成し、当時は墓地管理職員およびサービス用建物でした。建物は1998年にビジターセンターおよびインフォメーションセンターとして、またカフェテリアおよび展示会場として利用する目的で改修工事が行われました。

> さらに詳しく/リンク



**石垣**。全長3,6キロメートルの石垣がスクーグスチルコゴードンを取り囲んでいます。石垣の大部分は失業対策事業労働者たちにより築かれました。

> さらに詳しく/リンク




**墓地**。スクーグスチルコゴードンの中心は墓石ではなく、あくまでも自然が中心です。そのため、墓地は主に森林地区の中に設けられ、墓石は低く簡素なものです。

> さらに詳しく/リンク




**復活の礼拝堂**はシーグルド・レーヴェレンツの設計により1925年に完成しました。礼拝堂には多くの詳細に至るまでを考慮した古典風神殿建築様式を取り入れています。

> さらに詳しく/リンク



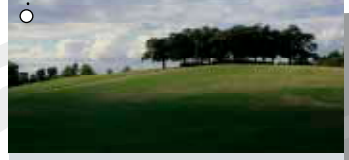
**正面入口**。入口の造形は菩提樹が二重に植えられたソッケンヴェーゲンの並木道と入口へと連なる石垣から始まっています。入口を入ると訪問者は丁寧に削られた切り石で大きく半円状に設けられた前庭に遭遇します。

> さらに詳しく/リンク



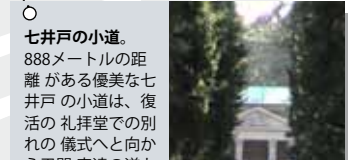
**花崗岩の十字架**は1939年にアスプルンドにより設計され、匿名家の経済支援により建造されました。この十字架は信仰のシンボルというよりはむしろ「生-死-生」という生命循環のシンボルとして考えられています。

> さらに詳しく/リンク



**楡の高台**。楡の高台の冥想の丘へは長い階段を上がり到達することができます。階段の踏み段は高く上がるほど長くなっています。これは昇段を楽にするための配慮からです。

> さらに詳しく/リンク



**七井戸の小道**。888メートルの距離がある優美な七井戸の小道は、復活の礼拝堂での別れの儀式へと向かう吊問客達の道として考案されました。

> さらに詳しく/リンク